

公中検模試をご存知ですか

公中検模試キャラクター



公中検模試は公立中高一貫校を目指す小学生対象の模試

公立中高一貫校適性検査対策模試 の略称



最大の母集団 2022年の受検者数はのべ **50,000名**。

公立中高一貫校専用模擬テストで全国最大の受検者数。



志望校別テストタイプ

東京版、神奈川県版、横浜市立版、広島版、千葉県版、千葉市立版、長野版、茨城県版、全国対応の複数の標準版に加えて、2022年からは岡山版も発行。小学6年は志望校に一番近い形式で練習できます。



フォローアップ講座

模試出題分野の復習用類題と親子で読める受検情報をまとめた冊子が毎号付録。レベル別の復習問題や先輩合格者の学習の仕方などを掲載。



合格を勝ち取った先輩にインタビュー

(2022年公中検模試5回受検)



公中検模試を受検しようと思ったきっかけは？

テレビで高校生が与えられた材料を工夫して、テーマに沿ったものを作っていた。どの学校もチームで想像力をふくらませて、力を合わせて作っていく姿に感動したが、その中に、家の近くの公立中高一貫校が出場していて、その学校に興味を持ったから。



会場模試を受検した感想は？

会場に行くのは面倒くさいな、と思ったが、行ってみると学校や塾で受けるテストとは違う雰囲気ですごく緊張した。勉強したことを出し切れなかった気がして、とても悔しかった。



会場模試を体験してよかった点は？

受検票を持って、自分で受付に並んだので、入試本番でも焦らずに教室まで行くことができた。休憩時間のトイレも、模試の時、混みあっていたのですばやく行動できたのはよかったと思う。

自分は会場模試を4回経験したので、入試の試験会場の緊張感に飲み込まれることなく、実力を発揮できたと思う。



後輩たちにひとこと

模試は回数を多く受けたほうがいいと思う。会場に行って試験を受けることは、とてもいい経験になるのでおすすめします。

公中検模試は・・・



全国の公立中高一貫校の適性検査問題の出題内容を研究・分析して作成。



「知識を総合的に活用する力」や「自分の意見を相手にわかりやすく伝える力」などをみる問題で構成。「読解力」「思考力」「活用力」「記述力」などの対策に直結！



会場模試は、試験本番と同じような臨場感！受検情報を提供する保護者セミナーを会場模試同時開催。

公中検模試を利用した受検生・保護者の声



会場模試を何回か経験して、トイレが混むことが分かっていたので、本番の時に焦らずに行動できた。



会場模試は本番の雰囲気と本当に近かった。経験を本番に活かすことができた。



採点が○×だけでなく、コメントが入っていたので、見直しする際とても参考になった。



作文がとても苦手だったが、丁寧な添削のおかげで徐々に苦手意識がなくなっていき、試験に臨めた。



志望校の出題に近い問題に挑戦できたので、復習にも役立った。



フォローアップ講座は受け取って直ぐに解いた。問題の振返りに役立った。



習い事を辞めたくない！という本人の希望を優先させたので、自宅模試ができたのはよかった。

2023年公中検模試

6月号・9月号・7月号(岡山版のみ)・10月号・11月号・12月号・2024年1月号(小5のみ)

公立中高一貫校を目指す生徒がいる塾様はぜひご検討ください。



「営業マンNEWS」は、塾様にいろいろな情報を提供します。